

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

学校名	神埼市立千代田中部小学校				
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校目標達成に向けて校務分掌や学級経営においてそれぞれが役割を果たすとともに、連携・協力しながら職責を果たすことができ、すべての項目がA評価で終わることができた。 ・学力に関しては、県平均、市内平均と同等以上の力が身に付いているが、学力を支える力（粘り強さ、忍耐力、丁寧さなど）を更に強化し、社会の中で生き抜く力を身に付けさせていく。 ・「自分のことが好き」と回答した児童は8割近くまで増えているので、役割と出番を与えて承認・称賛しながら、自己肯定感や自己有用感、他者を尊重する態度を育み、一人一人が自信をもって学校生活を送れるようにする ・ICT活用については、校内研究を通していろいろな教科で効果的な活用方法を探り、実践を積み重ね、情報の共有も進んできた。教員と児童のICT活用力は確実に高まっている。来年度も更に研究を深め、実践を重ねていく ・教職員それぞれが働きがいを感じながら職責を果たせるよう、業務改善の視点を大切にしながら、心身共に健康で働きやすい職場環境の整備に努める。 				
2 学校教育目標	「賢く 優しく 逞しく」 ～夢や目標に向かってチャレンジする児童の育成～				
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力向上（ICT活用教育の充実／／思考力・判断力・表現力の育成／読書の推奨） 2 児童の自己有用感や規範意識の醸成 3 全職員で全児童を見守る組織作り（ユニバーサル教育の推進） 4 勤務時間の縮減に繋がる業務効率化・適正化、組織体制の工夫 				
4 重点取組内容・成果指標					中間評価
(1) 共通評価項目					
重点取組					
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○共感力・表現力を基盤とした学力向上のための授業改善・環境改善 ○読書の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートにて、「授業がよく分かる」「自分の考えをよりよくする」と回答した児童80%以上 ○読書の目標冊数達成率90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究で教員が互いに授業参観し、意見を交換したりアドバイスしたりすることにより、教師の授業力の質を向上させる。 ・様々な教科の授業の中で話し合う活動やICTを活用する場の設定をする。 ・年間目標冊数や必読図書50冊を設定したり、図書館祭り等のイベントを工夫したりする。また、朝の時間に読書タイムを設定し、読む時間を確保する。 		
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりや道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上 ○いじめ防止等について、組織的対応ができていないと回答した教員90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に道徳に関するアンケートを行う。 ・平和に関する集会や、人権に関するなかよし集会を企画し実施する。 ・保護者が参画したふれあい道徳を実施する。 ・心のアンケートを実施し、事後対応や指導を適切に行うよう働きかける。 ・いじめの認知、認知に対する対応マニュアルの周知を図る。 ・いじめ防止に関して、生徒指導、教育相談や各連絡会を関連付けて実施する。 		
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。 (キャリア教育、特別活動の充実) ○最後まで粘り強く取り組む力や忍耐力を育む教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上 ○睡眠時間の確保について尋ねるアンケートで肯定的な回答をした児童80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童85%以上 ●児童生徒の交通事故をゼロにする。 ○正しい歩行や自転車の乗り方に関する肯定的な回答80%以上 ○けが等による保健室入室者5%減 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級で行っている児童のよさを認める取組を紹介し共有する。 ・授業や行事の中で児童に多くの出番や役割を与えて称賛し、振り返りで価値づけを行うことで、次の活動への意欲や自分の生活・生き方への意欲をもたせるようにする。 ・交通安全教室や児童会活動等に目標をもって取り組み、自分の活動を振り返りを通して、粘り強く取り組む力を育む。 ・保健指導等を授業やその他あらゆる機会に行い、正しい生活リズムの理解を深める。実践化へ保健だよりや学校保健安全委員会等で保護者への啓発を図る。 ・食育授業や給食指導を行い、望ましい食習慣の定着を図る。食育だよりを発行し、保護者への啓発と家庭での協力を得る。 ・交通安全教室を行い、正しい判断のもとに安全に行動できるようにする。 ・年間3回の避難訓練（風水害、不審者、地震火災）を実施し、緊急時の心構えや安全な避難の仕方を理解させる。 ・学校内の危険な箇所や自分自身の安全な行動など、集会や放送等で事例をあげて周知する。 		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外在在等時間の削減 ○3部会制の導入による学校運営への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在在等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 ○自らの校務分掌において、学校目標達成のための働きができたという回答した教師80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンによる業務管理を徹底する。 ・定時退勤日、年休取得日を設定する。 ・職員室の整理・整頓をする。 ・文書管理（データ・紙媒体）の効率化を図る。 ・自己申告書の自己目標と学校評価で担当した校務分掌上の目標を連動させ、日常の業務を遂行する。 		
●特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○個々が大切にされる学校風土の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の生徒指導連絡会・教育相談や特別支援教育の研修を実施する。 ○保護者アンケートにて「個々に寄り添う丁寧な対応」への肯定的な回答80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の生徒指導連絡会の内容を精選し、配慮を要する児童の情報交換や対応に対する連携の充実を図る。 ・学校の実態にあった特別支援教育の校内研修を年間10回以上実施し、専門性の向上を図る。そのうち外部講師を招聘しての研修を年1回以上行う。 		
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目					
重点取組					
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し
○タブレットを活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科におけるタブレットの積極的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットPC使用のアンケートで週3時間程度使用したと答えた割合が85%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研でタブレットの有効な活用法について研修を深めていく。全学年において有効活用の事例を紹介し、その成果を共有財産とする。 		
○幼保小との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○幼保小連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○年に数回、幼稚園・保育園との連絡協議会や園児と児童との交流会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回程度、職員同士の情報交換会や、訪問参観を行う。 ・年に数回、児童と園児の交流会の場を設定する。 		
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育					
5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 				